

# 「ふれあいの里山」復活大作戦



日時	2016年3月5日(土) 10時00分～14時30分(昼休み:30分)		
場所	金ヶ崎公園		
参加者	市民自然図鑑案内人(明石市内の学校の先生)/1名(午前のみ)		
	エコウイング会員/3名	事務局/1名(午後のみ)	計 5名

## ● 午前

今月の活動も、先月と同様に朝10時に集合して市民自然図鑑の昆虫観察から始めました。今月も都合で参加できないメンバーが多く、自然図鑑の案内人の先生を含め4名だけの観察でした。今日は、この時期にしては気温が上がり、明石の最高気温は16.3℃と初夏を思わせる陽気でした。

この陽気で昆虫の活動も活発になったようで、久しぶりにチョウやハチなどのなかまが色々と姿を見せてくれました。また、集団で越冬中のナミテントウも確認できました。

## ● 午後

午後は、金ヶ崎公園内の水路の手入れをしました。水路は、ふもとの北浦池の揚水ポンプが故障中のため、水が流れていませんが、メダカやカワニナなどが生き延びています。最初に、水路下流で外来種植物のオオフサモの除去をし、次に上流のロータリー付近の池にたまって水の流れを阻害している落ち葉を取り除き、水の流れを確保しました。

今日も、事故などもなく定刻より少し早く、午後2時30分ごろに活動を終わりました。

満開の梅の花に集まるハチ類を観察



奥の水源池でチョウなどを観察



オオフサモの除去作業



水路の池で落ち葉を清掃





清掃中の水路の池



清掃後の水路の池



- 次回の活動は4月2日(土)の予定で、新年度の最初の活動になります。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

## MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日の観察会で撮影した昆虫などを紹介します。暦の上で「啓蟄」のこの日に合わせたように、ハチやチョウのなかまを色々と観察できました。特に、公園の管理棟裏のウメの木が満開で、ハチやアブのなかまが蜜を求めてたくさん集まっていました。また、公園の奥にある水源に池では、越冬した色々なチョウのなかまが暖かな太陽の光を求めて飛び回っていました。

そのほかに、交尾中のハムシのなかまや、多様な翅の模様のナミテントウが集団で越冬中の様子も観察できました。

ウメの花に来たセイヨウミツバチ



ハチのなかま



キムネクマバチ



アブのなかま



アブのなかま





# MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

アカタテハ



テングチョウ



ムラサキシジミ



キタテハ



キチョウ



交尾中のハムシのなかま



集団で越冬中のナミテントウ



クサギカメムシ



早くも姿を現わした幼虫



今日の金ヶ崎公園では、まだ冬鳥のジョウビタキやツグミ、シロハラ、アオジなどのほか、モズやコゲラ、ヤマガラ、カワラヒワなどを観察しました。カワラヒワは繁殖期に入ったようで、巣作りの材料をくわえています。そのほかにも、警戒心の強いウグイスが珍しく姿を見せました。また、アカゲラも確認しましたが、写真は逆光でかろうじて赤い腹部が写りました。

ふもとの北浦池では、アオサギやマガモ、カイツブリのほか、メスのオシドリが観察されました。このオシドリは、翼を痛めているため飛び立つことができず、北浦池に取り残されて気の毒です。

ジョウビタキ(メス)



ツグミ





# MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その3)

シロハラ



アオジ



モズ



コゲラ



ヤマガラ



巣材をくわえたカワラヒワ



茂みから姿を見せるウグイス



アカゲラ



アオサギ



カイツブリ



マガモ(メス)と一緒に泳ぐオシドリのメス(右端)



植物では、白いコブシの花が咲き始め、オオイヌノフグリの青い花も見つけました。

コブシの花



オオイヌノフグリの花

